

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社小松製作所 大阪工場 (株)	階数	地上2F
建設地	大阪府枚方市上野	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	60 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2019年4月17日
敷地面積	129,500 m ²	作成者	今井紀夫
建築面積	7,273 m ²	確認日	2019年4月17日
延床面積	7,630 m ²	確認者	今井紀夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
高い外皮性能、効率の良い設備機器を使用しており、エネルギー消費、環境負荷低減になるように設計されている。	特になし。	
Q1 室内環境 ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用している。	Q2 サービス性能 天高が高く、利用者にとって高く感じる空間になっている。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽への配慮を行っている。
LR1 エネルギー LED照明を使用し消費電力の低減に努めている。	LR2 資源・マテリアル 躯体+LGS+仕上→躯体と仕上げ材が容易に分解できる。	LR3 敷地外環境 公害対策ガイドラインの一部を満たす取り組みを行っており、広告物照明の扱いの一部を満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0023

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	株式会社小松製作所 大阪工場 (仮称)新作業棟新築工事						
		建設地	大阪府枚方市上野						
		用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+			
①	CO2削減					4			
②	みどり・ヒート アイランド対策					2			
③	建物の断熱性					5			
④	エネルギー削減					4			
⑤	自然エネルギー直接利用					—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.9	4		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									